

H30年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	株式会社地層科学研究所
ソフトウェア名	Geo-Graphia
適用分野	地質・土質
適用フェーズ	(調査・予備設計、詳細設計、施工等)

国交省		株式会社地層科学研究所	
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	H30年度施策	ソフトウェアの対応状況
1	契約図書化に向けたCIMモデルの構築（設計・施工）	新たに策定した「3次元モデル表記標準（案）」をもとに2D図面と連動した3Dモデル作成・活用を実施。	30年度中の対応は難しく将来的には対応予定
2	関係者間での情報連携及びオンライン電子納品の試行	新たに策定した「情報共有システム機能要件」をもとに3Dビューを活用した関係者間共有、オンライン納品を実施。	・関係者間の共有には、弊社ソフトのフリービュー等を利用して対応 ・オンライン納品対応は未定
3	属性情報の付与	付与すべき属性情報を検討、結果を一覧にとりまとめる。（H30年度からIFCによる属性情報の直接付与が可能に）	・CIMモデルにおける属性は、別途作成されたCSVデータをプログラム側から参照することにより対応可能 ・IFCによる出力は、土木モデルビュー定義には現在未対応だが、CADモデルは出力することができる
4	CIMモデルによる数量、工事費、工期算出	3Dモデルでの数量算出のため、改定された「土木工事数量算出要領（案）」をもとに課題や結果をとりまとめる。	土量計算の手法としては、4点法にのみ対応、その他の手法は、対応未定
5	CIMモデルによる効率的な照査の実施	詳細設計照査要領に基づく従来の照査と比較し、3Dでの照査による効率化の程度についてとりまとめる。	地質・土質は未対応
6	施工段階でのCIMモデルの効率的な活用	施工計画検討を動画によって実施。工事においては計測機器と連携した出来形確認を実施。	・施工段階においてCIMモデル（地質・土質モデル）を作成できる ・出来形管理に関しては、計測データを面的に捉えることにより、確認することができる
7	その他【現場特性に応じて設定】	実施する現場の特性に応じてカスタマイズ。受発注者の協議を介し、3Dデータ活用による生産性向上の手立てを探る。	ソフトウェアでの対応は特にありません。協議を介し運用で生産性の向上を探る。